

新聞広告賞



第
34
集

NEWSPAPER ADVERTISING PRIZE 2014

序文

日本新聞協会は、新聞広告の新しい可能性を切り開いた広告主、新聞社を顕彰し、新聞広告の発展につなげることを目的に「新聞広告賞」を設けています。広告委員会は毎年、“新聞広告活動の全過程”を対象に選考し、優れた広告活動を社会に広く伝えるよう努めています。

第34回を迎えた新聞広告賞には、昨年6月1日から本年5月末日までの1年間に新聞協会加盟紙に掲載された広告の中から、広告主部門と新聞社企画部門を合わせ425作品の応募がありました。これもひとえに広告主、広告会社はじめ広告に携わる皆さまと読者のご理解、ご支援あってのことと感謝申しあげる次第です。

今回の受賞作品は例年同様、たいへんバラエティーに富んでいます。斬新なイラストや人気漫画を活用したインパクトある表現が目を引きほか、イベントやウェブサイトとの連動、スマートフォンで動画を見られるARやQRコードの掲載、一部ごとに異なる印刷ができる「可変印刷技術」の導入などは、新聞広告の新たな可能性を感じさせてくれます。長文主体の“読ませる広告”、東北復興支援や読者参加型企画は、新聞広告の特長である詳報性や保存性を生かし、高い評価を得ました。

新聞広告大賞に選ばれた『ONE PIECE』コミックス3億冊突破記念キャンペーンは47都道府県ごとに掲載紙の広告デザインを切り替え、人気漫画のキャラクターが各地の特産品や名所を紹介しています。掲載紙がコレクターズアイテムになるなど大きな話題を呼び、新聞広告の影響力がいかに発揮された事例といえるでしょう。

この冊子は受賞作品28件すべてを詳しくご紹介するとともに、外部審査委員を務めていただいたアートディレクターの中島祥文氏、コピーライターの一倉宏氏に受賞作品を概観していただきました。この作品集が、新たな広告企画を生み出す際の参考になれば幸いです。

私たちは皆さまの信頼に応えるため、新聞社の持つ多角的機能と総合力を生かし、創意工夫を重ねていく所存です。これからも一層のご支援を賜りますようお願いいたします。

2014年10月20日

一般社団法人 日本新聞協会
会長 白石 興二郎

第1条 (目的と名称)

日本新聞協会は、新しい新聞広告の可能性を開拓した広告活動を顕彰し、新聞と広告との発展に資することを目的に「新聞広告賞」を設け、毎年新聞週間に際し贈賞する。

第2条 (表彰の事由・贈賞の対象)

- (1) 新聞広告の新しい利用法や表現領域の開拓に成功した活動、新聞広告により広告目的に即して大きな成果をあげた活動、その他新聞媒体と新聞広告の特性・機能を活用あるいは開発し前条の目的に照らして貢献するところが大きいと認められる活動を表彰する。
- (2) 本賞は、協会会員紙に掲載され、前項に該当すると認められた広告作品に贈られる。



第3条 (賞の構成)

- (1) 本賞は広告主部門と新聞社企画部門の二つの部門によって構成する。
- (2) 広告主部門の本賞受賞作品から新聞広告大賞1作品を選定する。
- (3) 選考委員会は、前項両部門について、本賞とは別に、広告主部門においては優秀賞を、新聞社企画部門においては奨励賞を贈ることができる。

第4条 (受賞対象)

本賞の受賞対象は、広告主部門については当該活動の企画立案にあつた広告主企業とし、新聞社企画部門については協会会員新聞社の当該活動企画部門とする。

第5条 (表彰)

- (1) 広告主部門の入選作は6作品とし、新聞広告大賞1作品、新聞広告賞(広告主部門)5作品にそれぞれ賞状ならびに副賞を贈る。
- (2) 新聞社企画部門の入選作は5作品とし、新聞広告賞(新聞社企画部門)として、賞状を贈る。
- (3) 優秀賞に対しては賞状と副賞を贈る。
- (4) 奨励賞に対しては賞状を贈る。

第6条 (応募・推薦)

- (1) 本賞は、原則として、本賞の目的に合致した作品の企画・制作、掲載をした関係者の応募により選考を行う。ただし、広告関係の第三者による推薦を妨げない。
- (2) 応募・推薦の手続きは別に定める。

第7条 (選考)

本賞の選考はつぎの方法による。

- (1) 会長の任命する委員をもって新聞広告賞選考委員会を組織し、広告賞贈賞に関する事項を審議決定する。
- (2) 選考委員会は、応募・推薦された候補について審議し受賞者を決定、その旨を理事会上に申し承認を得る。
- (3) 選考委員会は、必要に応じ外部の関係者から意見を求めることができる。
- (4) 両部門の特性を考慮し、選考委員会の運営細則を別に定める。
- (5) 選考結果は、「新聞協会報」および「新聞広告報」誌上と当協会ウェブサイトで発表する。

第8条 (選考の対象期間)

- (1) 本賞選考の対象となる作品は、前年6月1日から本年5月末日までの1年間協会会員各紙に掲載されたものとする。
- (2) 上記期間を越える長期の活動については顕彰に値すると選考委員会が判断した場合は、始期は問わずこれを対象に含める。

第9条 (提出資料および締め切り期日)

応募者ならびに推薦者は、当該作品に所定の関係資料をそえて毎年6月初旬までに選考委員会に提出するものとする。

第10条 (その他)

本賞の選考および運用の細目については、選考委員会の決定により別に実施細目を設けることができる。

2013年2月15日 改定

目次

◎序文 日本新聞協会会長 白石興二郎

◎「新聞広告賞」に関する規定

[広告主部門]

〈新聞広告大賞〉

- 4 『ONE PIECE』コミックス3億冊突破記念キャンペーン
「ニッポン縦断!OPJ47クルーズ」
株式会社集英社

〈新聞広告賞〉

- 6 『和食は、和色で、できている。』
『日本には、お母さんが毎日つくる世界遺産があります。』
味の素株式会社
- 8 元旦宣言広告「固定概念を、ぶっ壊す。」
学校法人近畿大学
- 10 休肝日の断り技四十八手
サントリーホールディングス株式会社
- 12 DRIVING KIDS with TOYOTA
株式会社トヨタマーケティングジャパン
- 14 「行くぜ、東北。」
東日本旅客鉄道株式会社

〈優秀賞〉

- 16 おかえり、三鉄。
岩手県三陸鉄道強化促進協議会
- 17 キリン メッツ コーラ 全国ご当地メシ応援企画
麒麟ビバレッジ株式会社
- 18 大辞泉「あなたの言葉を辞書に載せよう。2014」
株式会社小学館
- 19 ハンズのモノ研
株式会社東急ハンズ
- 20 企業広告シリーズ「印刷テクノロジーで、世界を変える。TOPPAN」
凸版印刷株式会社
- 21 村上龍「速いものは、美しい」
日本中央競馬会
- 22 「函館蔦屋書店」オープンに関わる一連の広告展開
函館蔦屋書店株式会社
- 23 パナソニックの店「東北の街の元気屋になる。」
パナソニック株式会社
- 24 「食べモノは、愛のカタチ。」シリーズ
ホクレン農業協同組合連合会
- 25 『明治ミルクチョコレート』は87回目の誕生日を迎えました。
株式会社明治
- 26 ぜったい、優勝するぞ／日本一になりました
株式会社楽天野球団
- 27 新聞広告大賞受賞告知広告

[新聞社企画部門]

〈新聞広告賞〉

- 28 3.11大震災復興支援企画 みやぎ風プロジェクト
河北新報社 営業局
- 30 宇都宮餃子消費量日本一奪還プロジェクト
下野新聞社 営業局
- 32 信濃毎日新聞創刊140周年記念「家族のはなし」
信濃毎日新聞社 広告局
- 34 REAL 舞 HIROSHIMA
～地元紙による伝統芸能の保存と伝承～
中国新聞社 広告局、事業情報センター
- 36 わがまま写真館
西日本新聞社 広告局
- 38 AICHI SAFETY ACTION
朝日新聞名古屋本社 広告部
中日新聞社 広告局
中部経済新聞社 広告部
日本経済新聞名古屋支社 クロスメディア営業部
毎日新聞中部本社 広告部
読売新聞中部支社 広告部

〈奨励賞〉

- 40 高校生が選ぶ25市町村みんなの地域遺産
秋田魁新報社 営業局
- 41 全広連名古屋大会開催記念特集
中日新聞社 広告局
- 42 ビッグスワンをオレンジで埋めつくせ
～GIANT ORANGE Project～
新潟日報社 営業統括本部広告事業本部
- 43 日本人の忘れもの 知恵会議 ～未来を拓く京都の集い～
京都新聞社 京都新聞COM営業局
- 44 さよなら大名小学校
西日本新聞社 広告局
- 45 選評 選考委員会委員長 中村史郎
- 46 審査講評 中島祥文氏
一倉宏氏
- 48 応募状況・選考経過
第34回新聞広告賞選考委員会委員名簿

広告主部門は広告主名50音順、新聞社企画部門は会員名簿順です。
文中、制作スタッフの略号は以下のとおりです。
Pro=プロデュース、CD=クリエイティブディレクション、AD=アート
ディレクション、C=コピー、D=デザイン、Ph=フォト、I=イラスト、
CG=コンピューターグラフィックス、PI=プランニング